

わんぱく学園ニュース

平成16年4月No103

卯花月…… 子どもらの声がひびく 心にひびく
仲間と共に咲かそう それぞれの花を…

いのちいっぱい自分の花が咲くような、そんなわんぱく学園にと今年度もスタッフ一同心ひそかに思っています。

先日、7月“おちらと”に顔を覗かせてくれた可愛いお客さん(小学4年生)が、「ねぇ～、愛宕山へお花見に行かない?」と。“嬉しかったですねぇ～遊ばに誘ってくれるなんて!。愛宕山まで徒歩で20分。その日はまさに花見日和。親子連れや保育所の友だち、もくもく苑の方々などの人・ひと・ヒト…。

人ごみの中、車椅子の方が背をかかめ、無言で懸命に何かを拾おうとなさっているのが目にとまりました。地面に目をやると、そこには無造作に捨てられた空き缶が。その姿にくぎづけになった私たち、とても大切なことを学んだひとときでした。この日の桜の花のような、あの美しい心に――。

さて、3月に楽しんだ『わんぱく学園』の遊びの一部を紹介いたします。
[土江 記]

★三葉園の友達との交流―アトリエ“おちらと”
今回は三葉園の友達5名・フィリアの職員の方も入れ、総勢20名余りで粘土遊び＆釉薬塗りを楽しみました。

はじめ、安食ひろ校長先生が、車から木材を次々と出されたので、「あれ?今日は木工に変わったのかしら。」とっていました。

電気ノコ、トンカチ、くぎ、木ねじ…いろんな道具が出てきて、ひろ先生の本工作業が始まると……その姿は、見る見る大きなテーブルへと近づいて行き、約1時間足らずで、あっという間にどっしりとした、大きな作業台2つが完成しました。

できたてのホヤホヤの作業台とかわいいベンチで、さっそくみんなが粘土遊びを楽しみました。

前回ろくろで茶わんづくりをしたグループは、みんなが初めての釉薬塗りでした。赤茶色、緑、青、白の4色は、茶色以外はどれも同じ色に見えて、みんなグレーだったので、これらが緑や青や白になるとは、とても思えませんでした。でもみんな色を想像しながらテキトーに真剣に塗っていきました。

感心したのはAnkeさん。茶わん全体に白の釉薬をかけ、それが乾いたら正面に丸く赤茶色を塗り、「これ、日本(日の丸)です。」とのこと。我々には考えられない、素晴らしいセンスです。

焼き上がりが、とても楽しみです。
[尾原(謙) 記]

あんこが かわいい手に、いっぱい
おいしい いちご大福 を作ったよ

3月21日 のわんぱくは、お菓子作りで原幸枝担当でした。「何を作ろうか」と、お菓子の本をいっぱい借りて、いろいろ考えたものの、結局誰でも作れるいちご大福 作りになりました。当日の講師は、やっぱり美美ちゃんのお母さん。平田小学校の家庭科室を借りて、総勢16人参加。吾郷元ちゃん親子、美玖ちゃん親子、貴大ちゃん親子、山口さん、萬代さん、鮎ちゃん、拓ちゃん、飯塚まことさん。3才の元ちゃん、貴ちゃん、まなちゃんと美玖ちゃんはお母さんといちごのヘタ取りとあんを丸める役。みんな大喜びでにこにこ。材料を耐熱ボールに入れ、レンジで4分。「さあ、かき混ぜて」としたものの、原が、特別上等な上新粉(100%の餅米)を買ってきたため、のびなくて、あわててホックへ 白玉粉を買に行きやり直し。今度は、大成功。上新粉の失敗作は、子どもたちと原で団子に丸めました。まこちゃんも大活躍。



みんなそろっていちごだいふくと紅茶で「いただきま〜す」 3才児さんも大活躍で大満足。「こんなに簡単に作れるんですね」と喜ぶお母さんも。おうちの人にもおみやげとして持ち帰りました。「家でも作ろうね」とレシピを持ち帰り、親子で作られた家族もありました。レシピのいる方は、わんぱくへどうぞ。
[原(謙) 記]

◆4月の「わんぱく学園」メニューは、下記の通りです。

| | |
|-------|---|
| 4月 4日 | 都合がつかずお休みします。 |
| 11日 | 都合がつかずお休みします。 |
| 18日 | 魚釣り《猪ノ目海岸》(担当 何でも達人 飯塚真澄顧問) つりざお等がある人は持って来て下さい。餌は準備します。 |
| 25日 | 粘土コネコネして あ〜そぼ! (担当 安食ひろ校長) アトリエ“おちらと”喫茶”で、新年度スタート乾杯!! |

集合時間 9時15分・集合場所 光人塾前駐車場《学園の隣いっせ土江《62-2667》

参加料として、1名300円頂きますので 御了承下さいませ。